

# 平成26年3月期 決算説明会

平成26年5月12日

富士石油株式会社



Fuji Oil Company, Ltd. (TSE:5017)





# 次第

- 平成26年3月期決算
- 平成27年3月期決算見通し

# 平成26年3月期決算



Fuji Oil Company, Ltd.

<http://www.foc.co.jp/>

(TSE:5017)

# 平成26年3月期 トピックス

- **大規模定期修理の完遂**
- **平成25年10月1日、合併、新生富士石油誕生**
- **中期事業計画(平成26～28年度)の策定**
- **上流事業からの撤退完了**

## ドバイ原油価格

ドル／バレル



- 中国経済の先行き懸念
- 中東やウクライナ情勢の緊迫化

## 為替レート (TTM)

円／ドル



- 日米の金融緩和動向
- 本邦貿易収支の悪化

# 石油製品販売量・原油処理量

(単位:千KL)

	平成26年 3月期	平成25年 3月期	増減率(%)
ガソリン	1,641	1,951	△15.9%
ナフサ	299	287	4.2%
ジェット燃料	895	688	30.1%
灯油	405	625	△35.2%
軽油	1,445	1,371	5.4%
A重油	164	95	72.6%
C重油 (内電力向け)	(736)	(1,317)	(△44.1%)
ベンゼン	168	215	△21.9%
キシレン	299	322	△7.1%
石油ピッチ	336	371	△9.4%
その他	550	804	△31.6%
小計	6,998	8,131	△13.9%
ジョイント・バーター	669	540	23.9%
<b>合計</b>	<b>7,668</b>	<b>8,671</b>	<b>△11.6%</b>
原油処理量	7,159	8,256	△13.3%
稼働率	86.3%	99.5%	
稼働率(SDM除き)	98%	-	

- 復興需要で軽油は増加
- 景気回復基調でジェット燃料は増加
- 石炭やガスへのシフトで電力用重油は大幅減少
- 定期修理の影響で合計では減少

# 平成26年3月期 連結決算の概要



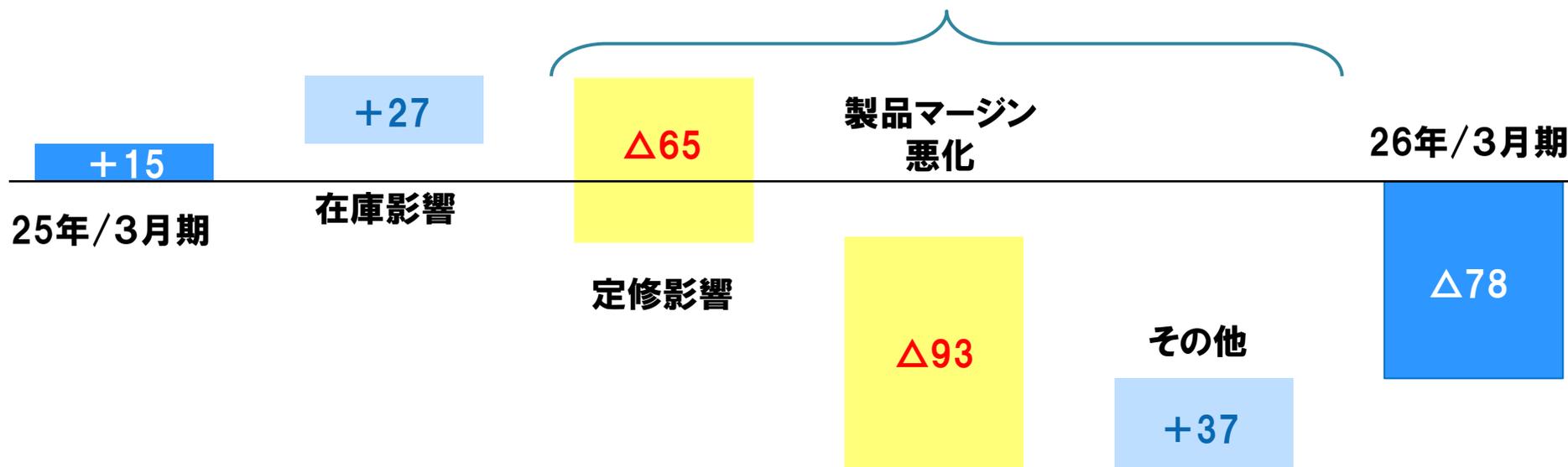
(単位:億円)

	平成26年3月期 \$ 104.6/Bbl ¥100.2/\$	平成25年3月期 \$107.0/Bbl ¥82.9/\$	増減額 △\$2.4/Bbl ¥17.3/\$
売上高	7,029	7,800	△770 (△10%)
営業利益	△78	15	△93 (-)
除在庫影響	△97	23	△121 (-)
経常利益	△101	32	△133 (-)
当期純利益	△118	△130	11 (-)

## 営業利益の増減要因

在庫影響除き △121

(単位:億円)



# 連結貸借対照表の主な増減項目



(単位:億円)

	平成26年3月末	平成25年3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,527	2,282	244	棚卸資産 +330 売掛金 △107
固定資産	1,275	1,326	△50	有形固定資産取得 +70 減価償却費 △91
資産 合計	3,802	3,608	193	
流動負債	2,463	2,369	94	短期借入金 +483 1年以内長期借入金 △276 未払金 △73 未払揮発油税 △62
固定負債	584	428	156	長期借入金 +212 修繕引当金(定修) △22
負債 合計	3,048	2,797	251	
純資産合計	753	811	△57	利益剰余金 △101 為替調整 +40
負債純資産合計	3,802	3,608	193	

# 連結キャッシュフローの状況



(単位:億円)

	平成26年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期 要因説明
営業活動によるCF	△439	56	税前利益 △108 減価償却費 91 売上債権減少 117 棚卸資産増加 △330 仕入債務増加 35 未払金減少 △73 未払揮発油税減少 △62
投資活動によるCF	1	54	貸付金回収 55 有形固定資産取得 △70
財務活動によるCF	409	△162	短期借入金純増 482 長期借入金(net) △67 配当金支払い △4
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	3	
現金及び現金同等物の増減	△6	△47	
現金及び現金同等物の期首残高	132	180	
現金及び現金同等物の期末残高	127	132	

# 平成27年3月期 通期業績 見通し



Fuji Oil Company, Ltd.  
<http://www.foc.co.jp/>  
(TSE:5017)

## 通期見通しの前提

原油価格  
(ドバイ原油)

\$ 105 / Bbl

為替レート

105円 / \$

重軽格差  
(AL-AH)

\$ 5.0 / Bbl

## 課題

- 安全・安定操業
- 製品需要に応じた柔軟かつ機動的運転を実施し高稼働を維持
- 省エネ・コスト削減の進展
- 石油ピッチを燃料とするボイラー・タービン発電機の検討加速

# 平成27年3月期 石油製品販売量

(単位:千KL)

	平成27年 3月期 (計画)	平成26年 3月期	増減率 (%)
ガソリン	2,146	1,641	30.8%
ナフサ	343	299	14.7%
ジェット燃料	1,005	895	12.3%
灯油	435	405	7.4%
軽油	1,672	1,445	15.7%
A重油	132	164	△19.5%
C重油	855	790	8.2%
(内電力向け)	(783)	(736)	(6.4%)
ベンゼン	203	168	20.8%
キシレン	370	299	23.7%
石油ピッチ	414	336	23.2%
その他	434	550	△21.1%
小計	8,013	6,998	14.5%
ジョイント・バーター	303	669	△54.7%
<b>合計</b>	<b>8,317</b>	<b>7,668</b>	<b>8.5%</b>
原油処理量	8,220	7,159	14.8%

- 非定修年で増産
- 白油・化成品中心に増販

# 平成27年3月期 通期連結業績見通し



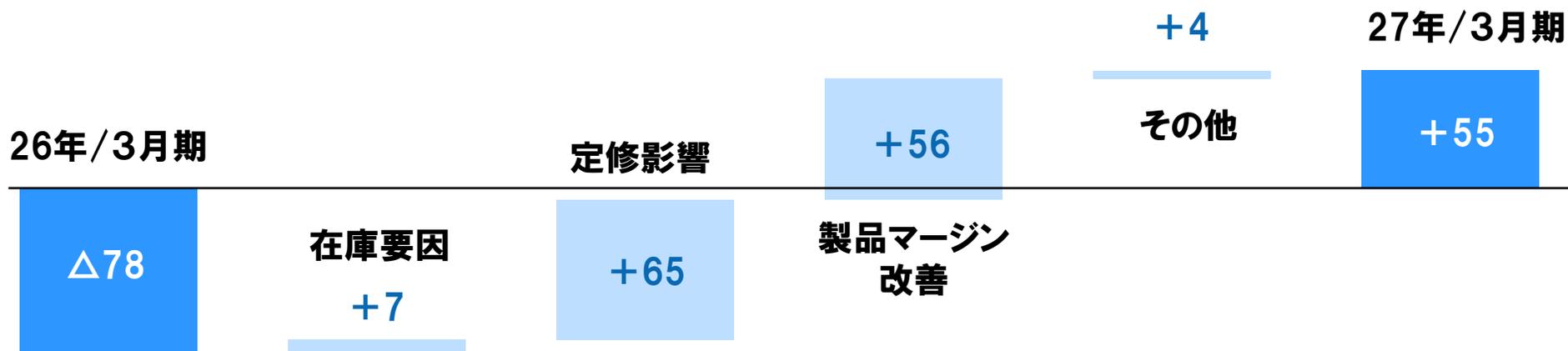
(単位:億円)

	平成27年3月期 \$105 / Bbl ¥105 / \$	平成26年3月期 \$104.6 / Bbl ¥100.2 / \$	増減額 \$0.4 / Bbl ¥4.8 / \$
売上高	7,570	7,029	540 (8%)
営業利益	55	△78	133 (-)
除在庫影響	29	△97	126 (-)
経常利益	34	△101	135 (-)
当期純利益	29	△118	147 (-)

## 営業利益の増減要因

在庫影響除き +126

(単位:億円)



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問合せ先

IR・広報グループ 岩本・山田まで



Fuji Oil Company, Ltd.  
<http://www.foc.co.jp/>  
(TSE:5017)

# 参考資料



Fuji Oil Company, Ltd.  
<http://www.foc.co.jp/>  
(TSE:5017)

# 原油価格・為替変動の経常利益への影響額



	基準		
原油価格 \$1/バレル下落に付き	105ドル	在庫影響	△6.5億円
		石油ピッチ	2.5億円
為替 ¥1/\$円高に付き	105円	在庫影響 外貨資産	△6.5億円 △1.5億円

(注) 石油ピッチの影響額は年間ベース  
 外貨建資産の影響はドル建資産の期末評価による為替の差損益  
 石油製品価格は原油価格に連動

# 重軽格差推移

